

(一財)新潟県バスケットボール協会(NBBA)主催DC及
び国体練習会の感染対策について



NBBA
NIIGATA BASKETBALL
ASSOCIATION

<はじめに>

これはNBBA主催のDC及び国体練習会用に、新型コロナウイルス感染症（以下：COVID-19）対策について示したものである。なお、運用については基本的には競技会運営ガイドラインに準ずるものとする。

<運営時における感染対策>

段階的な練習再開において、適切な感染対策を講じ問題が発生していなければ、練習会においても有症状者はいないはずではあるが、市中感染のリスクが常にあるため、自身が無症状病原体保有者となる可能性は否定できない。このため、感染対策においては、システムやマニュアルの個人・チームの遵守が最重要となる。今一度、スタッフやチームメイト、対戦相手、および練習会に関わる全てのスタッフを守るため、各人が意識をもって取り組んでほしい。

設備・物品などの制約があり、全ての対策が講じることが困難である場合にも、最大限にそれらに準ずるような対策を試み、それでも十分な対策が困難である場合には中止も検討する。

1 練習会開催判断と条件

NBBA内に設置した COVID-19 対策チームが、以下の条件をもとに判断する

1) COVID-19 対策チームとは、NBBA会長、NBBA副会長、NBBA専務理事、NBBA副専務理事、NBBA競技会委員長、NBBAスポーツ医科学委員長、ユース育成委員長、U18・U15・U12各部部长NBBA事務局長で構成されたチームを示す。

2) 政府・各都道府県の自治体・県スポーツ協会・各会場の方針として練習会が可能であること。

3) 各選手が身体的に試合可能なコンディションであること。

4) 体調不良者が多数の場合は、練習会を中止とする。

*多数とは…COVID-19 対策チームが判断する。

※なお、市中蔓延状況や陽性者及び濃厚接触者の状況に応じて、COVID-19 対策チームが練習会の継続の判断を行う。

2 練習会当日まで

1) 各練習会で感染対策責任者を設置し、適切な感染対策を講じた上で以下を実施する。

2) 個人

・2週間以内の行動記録を記載する。 ⇒ 必要時、濃厚接触者認定における判断材料となる得る

・毎日の検温と自覚症状を確認する。 ⇒ 確認内容は、最低でも以下①～⑤の事項を網羅すること

①体温 ②倦怠感の有無 ③咳の有無 ④喉の違和感や痛み ⑤味覚・嗅覚の異常

・練習会4日前以降、上記の症状がある場合は参加を見合わせる。特に発熱症状の場合は、ワクチン接種副反応によるものなのか、感染によるものなのか区別がつかないため、37.5度以上の発熱がある場合は参加を見合わせる。

・NBBA公式ホームページに掲載している、コンディショニングチェック表と練習会用参加承諾書をダウンロードして使用する (<https://niigata-basketball.jp/participant>)

・COVID-19 対策チーム宛での連絡窓口(メール)を作成し、報告や連絡、相談や問い合わせなどに対応する。
メールアドレス：nbba.covid_19@niigata-basketball.jp

3 練習会当日の入場について

- ・会場入場時練習会関係者全員に対して、非接触型体温計により検温を行う。37.5 度以上の体温を有する練習会関係者は、腋窩(脇下)体温計にて再検温を行い、その結果、再度 37.5 度以上ある場合は入場を認めない。
- ・入場可能時間は、それぞれの担当者から連絡すること。

4 その他重大インシデントは発生した場合

- ・(公財)日本バスケットボール協会が公開している JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第4版などを参考にして、NBBA COVID-19 対策チームで判断し、対応を決定する。

5 個人情報に関わること

- ・競技会参加のために提出する個人情報に関わる書類は、新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる調査にのみ使用する。
- ・個人情報に関わる書類は、競技会終了後3週間は練習会感染対策責任者が保管し、その後破棄処分を行う。